

令和2年度 米代西部森林管理署 高齢級秋田スギ採材検討会の開催

天然秋田杉の代替材としても期待される高齢級秋田スギについて、原木を生産する事業者の採材能力向上を目的とした「高齢級秋田スギ採材検討会」を令和2年8月27日(木)に開催しました。

高齢級の秋田スギについては、秋田県が指定する「あきたの極上品」としてブランド化もされており、天然秋田杉の代替として広く認知度の向上が必要です。

今回は、高齢級秋田スギの販売を委託している協同組合 秋田県銘木センター様に講師として御出席いただき、原木の売り手側からの目線で御意見を頂くことで、「あきたの極上品」になり得る材の品質、採材の方法を発注者（署）と事業請負者とで共有する貴重な機会となりました。

今後は、実際に高齢級秋田スギを取り扱っている製材所の方からも御意見を頂くことで、天然秋田杉の代替材である高齢級秋田スギを有効利用し、安定的な原木供給となるよう努めていきたいと考えております。

